



練習場所 大利根アスタホール、栗橋公民館、くぶる などの公共施設  
活動日 毎週水曜日 10時~12時

私たち「女声合唱団 コール・ジャンティ」は、「歌うことが好き」「ミュージカルやコンサートへ行くのが好き」「仲間と共に過ごす時間が楽しい」という40代から70代の幅広い年齢層の主婦たちが集まってできた「笑顔いっぱい/楽しい」合唱サークルです。団員の中には、仕事をしている人、介護をしている人、子育て中の人などいますが、自分のペースを大切にしながら、無理なく練習に参加しています。心をあわせて歌い、美しい響きを奏でられた時の喜びはひとしおです。活動内容は、歌う（合唱曲、J・POP、歌謡曲、唱歌）、地域の合唱祭やコンサートへの参加、出演り介護施設へ歌のボランティアで訪問、桜の季節には、お花見ランチで発足から15周年をむかえる2020年には、「第3回コール・ジャンティコンサート」を開催する予定です。コーラスを私たちと一緒に楽しみたい方、いつでも自由に見学、入会できますのでお気軽におこしください。



代表 宇佐見美恵子  
☎ 090-7237-2002  
場所 鷲宮東コミュニティセンター  
活動日 月3回 木曜日10時~12時

よさこいソーラン恵は、健康で皆仲良くをモットーに活動を始めました。最初は3人で始めたサークルですが、結成して12年目を迎え、今では会員も15名になりました。桜田小学校で、最初に踊りの手伝いをしてあげた子ども達も、もう大学を出て社会人になっているところもあります。活動はボランティアが主体で、久喜市内はもちろんだらけ、幸手市、杉戸町等にまで足を伸ばしています。練習は、毎回鷲宮東コミュニティセンターを利用して行います。健康が第一であることを忘れずに、準備体操をしっかり行い、下半身の強化にも取り組んでいますので、誰一人怪我をすることもなく楽しく踊っています。年齢は十一歳上がりでしたが、全会員がまだまだ元気はつらつとしています。実年齢よりも五、六歳、いや十歳くらい？若く見えるかなと自負しています。是非仲間になってください。いつでもお待ちしております。

久喜市生涯学習だより

令和元年7月15日 発行

第18号

編集：久喜市生涯学習推進部  
発行：久喜市教育委員会

まなびすと久喜

市民が創るまなびのまち



久喜市生涯学習推進部 委員長 宮内 智

久喜市では子どもから高齢者まですべての市民が、主体的・自主的に生涯学習に関わり、心の豊かさや活力に満ちた地域社会を築いていくための生涯学習推進計画（まなびすとプラン）が平成25年に策定されています。

市民の学習や地域参加を支援する組織として、久喜市生涯学習推進会議があり、その指針に基づき久喜市生涯学習推進部が実践部隊として「まなび」「いかす」「つなぐ」「ささえあう」の4つの施策を柱とした生涯学習を推進しています。

生涯学習推進部の主な事業活動は、①研修大会「まなびすとフォーラム」、毎年6月に市民の立場から「まちづくり」の意見交換を行っています。②推進大会「まなびすと久喜」、毎年2月に学習の楽しさを体験していただき、市民の日頃の活動成果を発表する場として開催しています。開催までには6か月の準備期間を設け取り組んでいます。

2事業とも市民大学や高齢者大学の学生さんの力をお借りして運営しています。③市内4地区のまつりの参加、テントブースを設け市民の生涯学習への関心・意欲を喚起するための普及活動を行っています。現在27名の委員が運営に携わっています。推進部委員は市の2年委嘱の公募制で誰でも応募できます。その中には、市民大学・高齢者大学卒業後に学んだ事を「いかす」ために参加されている活動されている方々がたくさんいます。

人生100年時代を迎え、いかに生きがいをもって充実した人生を過ごせるかは、誰もが願っているところです。是非、久喜市に創られたこの素晴らしい生涯学習活動に携わってみませんか。共に学び、集い、語り合える「学びの場」を市民の手で創り上げて参りましょう。そして、より良い久喜市創造のために、生涯学習活動の推進をして参りましょう。

久喜市内学校紹介

- ★所在地 久喜市菖蒲町菖蒲625番地
- ★電話 0480 (85) 1202
- ★創立 明治6年(1873)6月12日
- ★校長名 矢嶋 正俊
- ★児童数 202名(5月1日現在)
- ★学級数 9学級
- ★学校教育目標 瞳輝き・子どもも教師もいきいきと進んで活動する学校  
○よく学ぶ子「知恵を出せる子」  
○仲良くする子「勇気を出せる子」  
○元気な子「汗を出し頑張る子」



久喜市立菖蒲小学校



- ★所在地 久喜市吉羽2丁目16番地10
- ★電話 0480 (21) 0572
- ★創立 明治6年(1873)4月1日
- ★校長名 木村 信之
- ★児童数 475名(5月1日現在)
- ★学級数 18学級(特別支援学級3学級を含む)
- ★学校教育目標 全力でがんばりぬく子  
○考えぬく子  
○思いやる子  
○やりぬく子

本校は、明治6年に開校した伝統ある学校です。本校では、全ての教育活動において「全力でがんばりぬく」を合言葉として取り組んでいます。また、学校運営協議会を中核として、保護者や地域の方々の温かな支援を受け、地域ぐるみで子ども達を育てています。本年度は県教委委嘱のプログラミング教育の発表を行う予定です。

久喜市立太田小学校

まなびすとフォーラム

《第10回久喜市生涯学習研修大会》

今回も多くの方の参加を得て、地域の皆様それぞれの立場から大会テーマをもとに「自分づくりと学び」についての活発な意見交換を行いました。

大会テーマ：「自分づくりと学び」とは



世代・立場を超えた参加者から活発な意見がでました!



意見交換の結果を発表する高校生

日時：令和元年6月8日(土) 午後1:20~4:30

場所：県立鷲宮高等学校学生食堂

参加者：高校生・学校教職員・社会教育関係者・児童生徒の保護者  
コミュニティ活動関係者・一般の方(202名)

会場の鷲宮高校

新天皇が即位され、平成の時代から令和の時代になりました。新しい時代に寄せる期待は、悲惨な事件や事故・災害のない平穏な世の中であってほしいと願うばかりです。また、平均寿命が毎年更新されていく中、人生100年時代はそう遠くない未来ではないでしょうか。

長い人生を謳歌するには、いつまでも健康でいることです。健康でいるためには、生きがいを持つことが大切です。生きがいの持ち方(前号参照)は人それぞれですが、社会とつながり、人と関わり合うことが何よりも重要です。前号で紹介しました4名の

方々も生き生きと充実した人生を過ごされています。

今回は～地域デビューをしてみませんか～PART IIとして4名の方を紹介いたします。ところで、脳を活性化し元気で過ごすには「教育」と「教養」そして「貯金」が大切です。「教育一きょういく一今日行く(ところがある)」「教養一きょうよう一今日用(がある)」「貯金一ちょきん一貯筋一筋力を貯める」ことです。

人生100年時代、生きがいをもって生き生きと生き抜くために地域デビューをして健康という目に見えない資産を今のうちからコツコツと貯めていきませんか。

阿部 正信さん(77歳) 青葉

- A1 17年前自治会の先輩から勧められたのが太極拳を始めるスタートです。
- A2 2017年12月、自治会の先輩や仲間との飲み会の時身体を動かす機会が少なくなったので、是非、公園で太極拳を教えてほしいとの話がきっかけです。
- A3 青葉5丁目公園で週1回、太極拳と健身気功(八段錦)の練習を町内の方、近隣の方も参加されて楽しく活動しています。
- A4 寒い日、暑い日の季節を感じながら、公園での練習は誰でも安心して難しさと楽しさを味わい、健康増進などになると思っています。
- A5 太極拳、健身気功(八段錦)は、穏やかでゆったりした動きなので高齢者にも楽しめる運動です。一生懸命取り組み、繰り返し継続することで心身の健康づくりに役立ちます。是非始めてみませんか。



竹下 哲朗さん(62歳) 桜田

- A1 自治会活動です。1989年に越谷から桜田に転居。その6年後に自治会長になり、夏祭りなどさまざまな地域活動や行事に関わるようになりました。
- A2 2011年3月の東日本大震災直後、加須の騎西高校に避難された福島県双葉町の方々への炊き出しに地元の友人達と参加。実体のある支援活動の大切さを痛感したことです。
- A3 同年、被災地支援のボランティア団体「桜田応援団」を20名程度で結成。以降、毎年春と秋にイオン東鷲宮店前の「けやき広場」でチャリティーバザーを開催し、収益金と義援金のすべてを被災地に寄付しています。バザーは今年で18回、寄付金総額は130万円を超えました。
- A4 回を重ねるごとに足を運んでくれる住民や新たな協力メンバーも増え、「継続は力なり」を実感しています。何より、年齢も職種も価値観も異なる多数の地域友人とのつながりや共有する時間が、私の心のオアシスにもなっています。
- A5 どんな地域活動であれ、参加したいと思えば気軽にドアをノックすれば温かく迎えてくれると思います。今秋もバザーを開催しますので、興味のある方はぜひ声をかけてください!



- Q1 地域デビュー『初めの一步』は何の活動から始まりましたか?
- Q2 始めたきっかけや理由は何ですか?
- Q3 現在どんな活動をしていますか?
- Q4 あなたにとってどんな「果・成果」ありますか?
- Q5 地域の方へ地域デビュー推奨の一言をお願いします。

塚本 烈史さん(77歳) 菖蒲町下栢間

- A1 合併後の平成22年、久喜市市民大学への入学が地域デビュー「初めの一步」となりました。
- A2 市民大学の中で、「ボランティア活動」は社会貢献であるとの説明を聞き、地域小学校の「放課後子ども教室」(ゆうゆうプラザ)に応募しました。
- A3 「かやまっ子ゆうゆうプラザ」の運営スタッフとして、①年間活動計画の作成 ②実施委員会開催 ③講座指導者との連携など多くのサポーターの協力を得て活動しています。
- A4 ①児童の放課後の「居場所づくり」と「友だちづくり」に、学校の先生、地域と保護者の皆さんとともに貢献できたこと。  
②地域の多くの皆さんと顔なじみになれたこと。
- A5 ①地域にはいろいろな特技をお持ちの方がおられます。これらの特技をぜひ、子ども達に教えていただきたい。  
②各講座の準備、安全確認、下校など、ほんの短時間だけでもお手伝いしていただきたい。



森脇 五男さん 伊坂

- A1 自治会内道路の「吸い殻拾い、ゴミ拾い」自治会衛生部の役員に推挙されたのが始まりです。
- A2 定年退職したら、何か地域に貢献出来る事をやろうと思っていました。
- A3 自治会会長・区長、単位地区老人会長・支部副会長、コミュニティ協議会、栗橋小学校運営協議会会長、栗橋小学校並びに栗橋東中学校応援団、自主防犯会自主防災会会長等をしています。
- A4 市長以下行政、地域の皆さん、学校の先生方、子ども達等沢山のの方々との繋がりができました。
- A5 第一に笑顔で誰にでも挨拶しましょう。顔と名前を覚えましょう。話は良く聞きましょう。親切、丁寧な立ち振る舞いをしましょう。

